

1. 件名：一般社団法人日本保全学会との意見交換
2. 日時：令和5年9月20日 15時00分～17時15分
3. 場所：日本保全学会事務局 会議室
4. 出席者  
原子力規制庁 原子力規制部  
    実用炉監視部門  
    杉本安全規制管理官、小野上級原子炉解析専門官  
    専門検査部門  
    滝吉管理官補佐  
一般社団法人日本保全学会 原子力規制関連検討会 主査 他22名(Web併用)
5. 要旨
  - 一般社団法人日本保全学会から、資料に基づき、同学会原子力規制関連検討会における議論の状況として、以下の説明があった。
    - ・ 令和5年4月17日の面談における保全学会からの説明内容の振り返り
    - ・ 保全活動における Risk-Informed Decision Making の考え方
    - ・ 入替点検を実施する場合の諸課題
  - 原子力規制庁から、原子力規制検査における Risk-Informed Decision Making の考え方に関する取り組みについて説明するとともに、予防保全作業に伴うリスク管理措置の実施状況、使用前事業者検査の考え方等について質問し、情報共有を行った。
6. 面談資料
  - ・ (前回 4/17 面談資料)「安全性向上と稼働率向上を目指した近未来における原子力発電所の運用改善に関する検討」(一般社団法人日本保全学会)
  - ・ 「年間を通じて必要とされるタイミングで行う保全活動とリスクマネジメント」(一般社団法人日本保全学会)
  - ・ 「入替点検を OLM で進めるために」(一般社団法人日本保全学会)

以上